

プログラム名	Global Health and Nursing II
交流先大学	アラバマ大学
目的	自ら異なる社会文化的環境に身を置く、あるいは身を置いて生活する人々との接点を持つという経験を通して、当該社会文化に固有の生活様式や医療・看護の現状、様々な社会文化的背景をもつ人々の健康や病気に関する信念や反応等を学び、文化的感受性を涵養する。
実施内容	上記の目的の下に、アラバマ大学看護学部とは 2-3 月に 14 名の本学部学生を派遣し、受入準備について調整を継続した。学生は渡航先にて医療・福祉施設訪問や大学内での講義・演習ならびに現地学生との交流を行った。
オンライン交流の形態	非同期 + 同期
オンライン交流の実施期間	2024 年 11 月～2025 年 3 月
実渡航の有無	実渡航あり
派遣期間	2025 年 2 月 16 日～3 月 1 日 アラバマ大学派遣
参加人数	千葉大学：14 名
受講生の感想	オンライン： 渡航：渡航先において生活の差異はもちろんのこと、実際の保健医療福祉施設にて提供されている医療サービス、看護師の働き方、学内教育や設備の差異に非常に驚き、視野が広がったようであった。同時に自身の英語力不足に気づく学生も多く、実渡航のインパクトは大きい。
プログラムの良い点	